

神戸アーチェリークラブのレンジを使用するにあたって

レンジ内でのマナー

- ・ レンジはアーチャーの交流の場であることをわきまえ、お互いに親睦をはかるように心掛けましょう。
- ・ レンジ内でふざけたり、騒いだりして他の人の射を邪魔しないようにしましょう。
- ・ 喫煙は定められた場所でしましょう。
- ・ 飲食は定められた場所でしましょう。
- ・ レンジ内で出たゴミは各自、持ち帰ってください。
- ・ 他人の弓具を勝手に触れてはいけません。
- ・ 練習中は飲酒厳禁です。

服装

- ・ 上着はだぶつかないものを着用しましょう。特に押し手の袖がだぶつくのは好ましくありません。
- ・ 競技（試合）においては、女子はスカート、キュロットスカート、スラックスまたは半ズボンおよび長袖あるいは半袖シャツの着用、男子はスラックス又は半ズボンおよび長袖あるいは半袖シャツの着用が奨められています。
- ・ 履物は練習時も含めて歩くにふさわしいスニーカーが良いでしょう。

練習中のマナー

- ・ シューティングライン上では、人の迷惑になるような大きな声で話さないでください。
- ・ 弓を引いている人には不用意に近寄らなでください。
- ・ 練習をしている人にむやみに話し掛けて邪魔をしないでください。
- ・ 射っている人の視界に入り射形をのぞきこむことや、すぐ後ろでの私語などは控えてください。
- ・ 全射終了後の矢の確認（観的）はシューティングライン上では行なわないでください。
- ・ 自分が射ち終わった時に前後の人がドロ잉からエイミングの最中なら、射ち終わるまで待ってあげましょう。
- ・ 時間を計って射っている人がいたらその人になるべく合わせましょう。
- ・ 的に刺さった矢は、基本的に自分の矢は自分で抜きましょう。
- ・ 他人の矢を抜く場合は相手に了解を得てからにしましょう。
- ・ 競技会では同的の相手ばかりに矢を抜かせないようにしましょう。
- ・ 的の後にそれた矢を探す時は一緒に射っている人に、的の後方に行くことを必ず知らせてください。
- ・ 的の後ろにはずれた矢は、みんなで協力して探しましょう。
- ・ 弓による狩猟は法律で禁止されています。

安全について

- ・ お互いに安全を確認しながら練習しましょう。
- ・ 弓と矢を的以外の物に向けてはいけません。
- ・ 練習をしている人がいる場合、そのシューティングラインより前方に出ないでください。
- ・ 人や動物に向かって弓を引いてはいけません。
- ・ 矢をつがえていなくても人に向かって弓を引いてはいけません。
- ・ 射る前に的の方向に人がいないことを確認してください。
- ・ 基本的に6射毎に矢取りをしてください。
- ・ 矢取りは全員が同時に行い、まわりの人の安全に注意してください。
- ・ 矢を的から抜くとき、後に人がいないことを確認して抜きましょう。抜いた矢が後の人の顔などに当たる場合があります。

道具について

- ・ 弓と矢、その他の弓具は大切に使用しましょう。
- ・ 弓は水平に引き分けることができる、自分の体力にあった弓を選択しましょう。
- ・ 弓を空射ちしてはいけません。弓が壊れることがあります。
- ・ 弓はよく整備し、不良状態で射たないようにしましょう。
- ・ 弓を射る前に、弓のがたつき、特にサイトの緩みが無いことを確認しましょう。射ったときの振動でサイトがずれることがあります。
- ・ ひび割れた矢、折れた矢は使用してはいけません。射つときに手に刺さることがあり、大変危険です。
- ・ 短すぎる矢はレストダウンをして手に刺さることがあり、大変危険です。自分の引き尺に合った適切な長さの矢を使用しましょう。
- ・ 矢をつがえるときは、ノックをしっかりとストリングにノッキングしましょう。ノックがはずれると空射ち状態になり危険です。
- ・ サイトが的までの距離にあっているか、十分にチェックしましょう。サイトが間違っていると矢が的に乗らず、危険です。
- ・ セットアップの段階では、必ず矢を的の方向に向けましょう。
- ・ 万一の暴発に備え矢を上に向けるなど、振りかぶってはいけません。暴発した矢がレンジの外まで飛んでいった事故例もあるので、厳守してください。

スクール生の方や初心者の方で、わからないことや困ったことが起きた場合はクラブ員に相談してください。

2006/10/23

神戸アーチェリークラブ安全委員会